

大豆の生育状況(9月 25 日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対平年遅速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 子実肥大期 納豆小粒 子実肥大期	1日早い 平年並	龍ヶ崎市における8月第6半旬～9月第4半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。 【気象】 気 温: 平均気温は高かった(平年差+1.8℃、図1)。 降 水 量: 平年比 96%と平年並であった(図2)。 日照時間: 平年比 113%とやや長かった(図3)。 【生育】 開花期は平年に比べ、「里のほほえみ」が7月 30 日と1日早く、「納豆小粒」が8月7日と平年並であった。 9月 25 日調査時点の地上部生体重は、「里のほほえみ」は平年並で、「納豆小粒」はやや重かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。 <u>里のほほえみ</u>: 主茎長、主茎節数、分枝数は平年並で、茎の太さはやや太く、地上部生体重は平年並であった。一株莢数はかなり多く、一株莢重はやや軽かった。 <u>納豆小粒</u>: 主茎長、主茎節数、分枝数は平年並で、茎の太さはやや太く、地上部生体重はやや重かった。一株莢数はやや多く、一株莢重はやや重かった。 写真1に9月 25 日時点の所内大豆の生育状況を示した。 「里のほほえみ」は一部に葉焼病が見られた(写真1)。 【注釈】 1) 対平年遅速は開花期の本年値と平年値の差による。 2) 平年値は直近5ヵ年分(令和元年～5年、令和6年は天候不順により播種期が 13 日遅れたため除外)のデータ平均値。	●病虫害防除をこれまで下記の通り実施した。 ・害虫防除: 8/5、8/13、8/28、9/8 ・紫斑病防除: 8/13、8/28、9/8 ・その他病害防除: 8/5 ○紫斑病の防除適期は、開花期の 20～30 日後頃である。 ○「里のほほえみ」は、べと病が発病しやすい傾向があるため、防除に努める。 ○病虫害の情報や防除対策は、病虫害防除部のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)

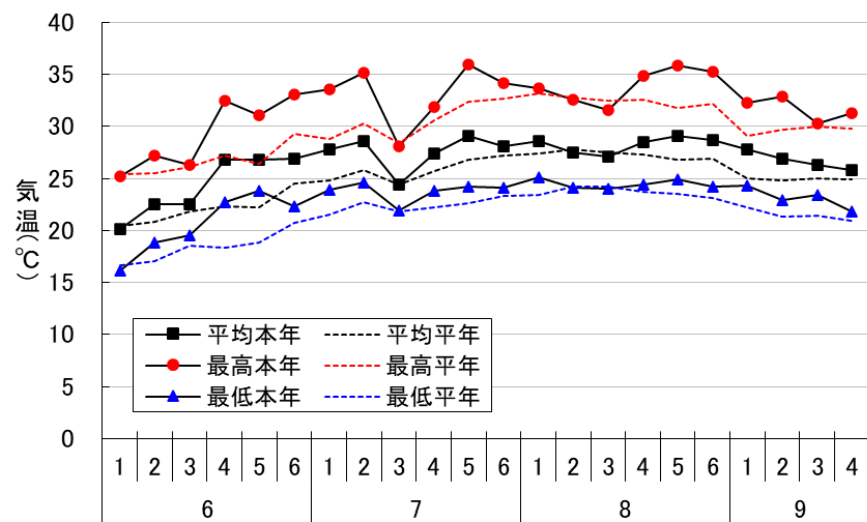


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

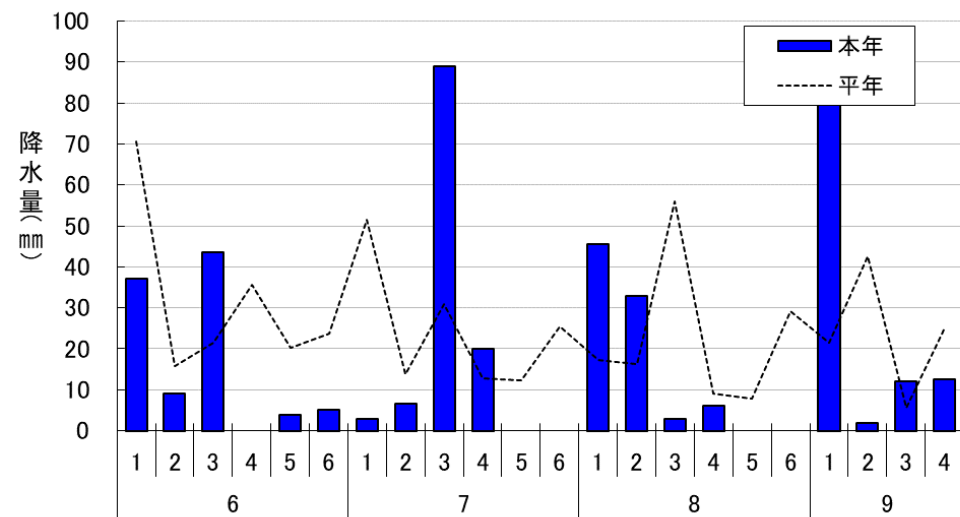


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

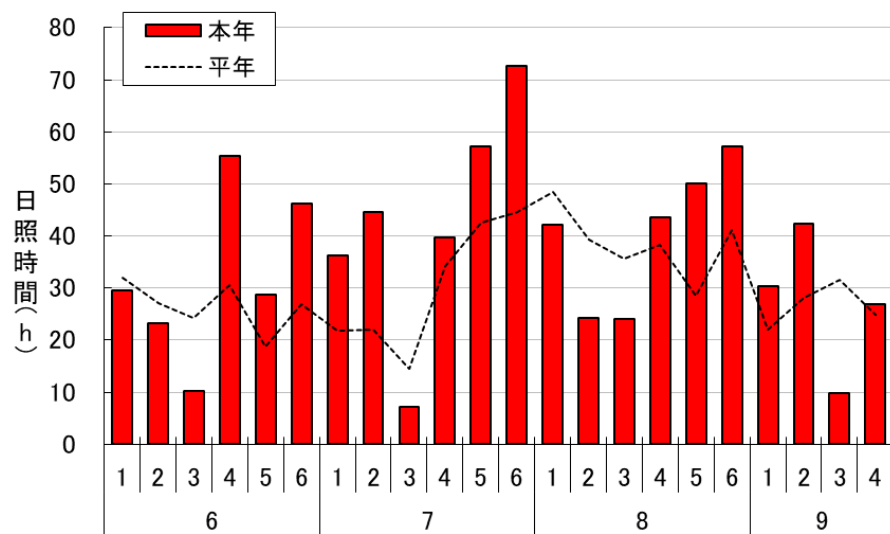


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.30	7.28	7.31	57.6	102	96	14.5	105	102	4.4	130	100	13.5	112	109
納豆小粒	8.07	8.04	8.07	71.7	89	102	16.8	96	102	9.5	99	99	11.7	108	108

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	299.3	91	101	84.6	111	118	105.1	79	89
納豆小粒	355.4	98	110	249.1	109	113	118.0	97	110

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換 2 年目（前作麦）
- 2) 播種期：6 月 20 日
- 3) 播種密度：11.1 株/㎡（畦間 60cm、株間 15cm）1 本立て
- 4) 基肥：N－P₂O₅－K₂O＝0.3－1.2－1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7 月 23 日（初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は 9 月 25 日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

令和 1 年～令和 5 年播種の 5 ヶ年の平均値（令和 6 年は天候不順により播種期が 13 日遅れたため除外）



写真 1 所内大豆の生育状況（9 月 25 日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒）

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

